

救急法講習会

国際救急法 MEDIC First Aid®



乳児・小児・成人のCPR、AEDとその他の応急手当を学ぶ

対象：保育者、教員、インストラクター、児童施設職員、添乗員、送迎バス運転手など
(救護義務があり、より確かな手当が求められる方)

■チャイルドケアプラス™ コース

動画教材、テキスト、演習による系統的学習

国際認定資格取得 国際認定カード・修了証発行 ※いずれも受講料に含まれます

受講者募集

出張講習対応

※詳細は裏面を
ご覧下さい。

お申込み
お問合せ

会場・開催日

南YMCA
(大阪市天王寺区)

六甲山YMCA
(神戸市灘区)

選べる会場・開催日 講習時間 9:00~17:00

2021年
10月23日(土)、11月6日(土)、12月12日(日)

2022年
1月16日(日)、2月6日(日)、3月12日(土)

2021年
11月20日(土)、2022年
3月13日(日)

受講料 19,000円 ※各日とも定員12名 最少催行3名

六甲山YMCA ホームページ または 右記QRコードより

TEL 078-891-0050

[六甲山YMCA](#) 検索

六甲山YMCA はメディック・ファーストエイド® トレーニングセンターです。



MEDIC First Aid® (メディック・ファーストエイド®)

MFA はメディック・ファーストエイドの略称です。MFA は救急医療の先進国、アメリカで 40 年以上（1976 年創設）も前に誕生した一般市民レベルの応急救護の手当の訓練プログラムであり、そのソフト（ノウハウ）とハード（教材などの伝達媒体）は数年ごとに最新の教育学的手法と国際コンセンサスに基づいた医学ガイドラインを盛り込んでアップデートを続けています。現在ではその画期的にして卓越した教育内容と有効性により、国連関連組織・世界安全機構（WSO）をはじめ、アメリカ沿岸警備隊（日本の海上保安庁にあたる）やカナダ・ロイヤル・ライフセービング協会、ガールスカウト USA、DAN JAPAN（財団法人 日本海洋レジャー安全・振興協会）など、様々な公的機関や団体の多くから公認され、5 カ国に設置された国際サービス・オフィスを通して世界中に普及しています。

ChildcarePlus™(チャイルドケアプラス) コース

子どもと関わる施設のスタッフ、子どものスポーツコーチ、その他の子どもの健康上の緊急時に対応することが必要な人々のための理想的とも言えるトレーニング・プログラムです。

主な受講対象

■保育者 ■幼児教育者 ■学校教職員 ■保護者 ■スポーツコーチ ■ボランティア ■送迎車運転手 など
子どもと関わる活動に従事される方は、送迎時などで保護者（成人）や子どもの兄弟姉妹（乳児）と接する機会が多くあります。また、親子でのイベント時、あるいは同僚の緊急時に対応が求められることがあります。本コースでは、小児、乳児、成人に対応できる内容を学ぶことができます。

教材とエビデンス



受講生ブック、ポケット・スキルガイド
救急計画表、実習用品セット
人工呼吸用バリア、保護用手袋
包帯、ガーゼ、ジップロック袋

受講者は各自のテキストを使って受講し、後の参照用として持ち帰ることができます。
A5 版フルカラー 全編 132 ページ

MEDIC First Aid プログラムが準拠している医学的な情報は、医師や研究者あるいはインストラクターの個人的な意見ではなく、十分なデータをもとに討議され、全米および国際的なコンセンサスを得たエビデンスベースのガイドラインに組み込まれている情報だけを使用しています。2015 CPR and First Aid Guidelines, Caring for Our Children, 3rd Ed, 心肺蘇生法委員会 (JRC) 発行「救急蘇生法の指針 2015」(日本国内版のみ) 他

講習から認定



認定カード



修了証書

※発行日から 2 年間有効
履歴書資格欄への記載、海外でも提示可

CG を駆使した DVD 教材とスキル練習のサンドイッチ方式
「見る、聞く、話す、感じる、実行する」系統的アプローチでの学習

資格認定は、妥当なレベルでスキルを実行できる能力がついたかを
担当のインストラクターが観察・評価しておこないます。

※通常は筆記試験はありません。受講者側の職場の規則などによる必要がある場合には、スキルと知識の検定をおこなうことも可能です。
筆記試験が必要な方は担当インストラクターにお申し出ください。

講習内容

子どもの応急手当で、小児応急手当でプロバイダー、緊急事態に気づく、かかわる人の安全、助けようとする、血液感染性の病気、スタンダード・プリコーション、自分を守る器材、法的な側面、同意の示唆、遺棄しない、善き隣人法、救急医療サービス (EMS)、中毒 110 番、救急行動計画、緊急移動、突然の心停止、酸素と人体、二次的心停止、早期除細動、蘇生の連鎖、胸部圧迫、レスキュー呼吸 AED の操作、AED のトラブル解決とその他の注意事項、初期の評価 - 意識不明の子ども、回復体位、心停止の手当て、圧迫のみの CPR、溺水、複数のプロバイダーによる CPR、心停止の手当ての手順、チョーキング (のど詰まり)、初期の評価 - 意識あり、出血のコントロール、止血帯*、内出血、ショック、脊椎のケガ、脳のケガ、脳しんとう、四肢の腫れ、痛み、変形、ヤケド、切断、軽いケガ、鼻血、口のケガ、目に入った異物、突発的な病気の警告兆候、意識レベルの変化 (意識障害)、低血糖症、けいれん発作、失神、呼吸困難、息切れ、ぜんそく、吸入器、激しいアレルギー反応、中毒、一般的な病気、暑熱障害、脱水症、熱疲労、熱射病、寒冷障害、低体温症、凍傷、噛み傷と刺し傷、精神面の考察事項 * オプション

受講者からのコメント

最初は難しい用語やわからない所が多いのかと思っていたんですが、内容もとてもおもしろくわかりやすく説明していただいたので、とっても楽しかったです。実際に人形にやった際も何回もやることにより体が覚えた部分もあり今後もしやることになったら自信を持ってやりたいです。救助は誰にでも大切で必要なことをこんなに楽しく自信がつくような説明で教えて頂きありがとうございました。

企業／組織内認定証書

同一の企業や施設、組織内から 3 名以上の方が受講された場合、複数の職員が訓練を受けたことを表示する「企業／組織内認定証書」を発行します。受付等に掲示し、安全に対する取り組みを行っていることを利用者へ明示することができます。発行は受講料に含まれます。



企業 / 組織内認定証書

出張講習 3 名以上の受講者がいる場合、ご希望の日程、場所にインストラクターが訪問して講習を実施します。詳細はお問合せください。